



竹千代賞

馬小屋でひづめの裏の手入れする馬のまなざしやわらかくなる

伊 沢 実 花

【評】 「馬小屋」という、他の人が詠むことのなかった題材を丁寧に見事に詠んだ作者。「ひづめの裏の手入れ」をしつつ、まなざしの「やわらかさ」まで気づいた、心優しい作者の観察眼に拍手を贈ります。